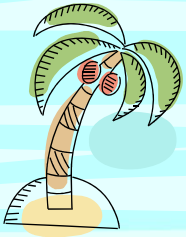


2013年
7月号

国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所発行 (No.72)



Mini-WAN



～三河港湾事務所だより～



TOP News!

JICA研修！



フォルクスワーゲンテクニカルサービスセンター内を見学



カモメリア展望室より



ラグーナ蒲郡にて説明を受ける研修員

6月26日、JICA（独立行政法人国際協力機構）集団研修「港湾開発・計画」が開催され、フィリピン、ミャンマーなど世界各地から17名の研修員が三河港の各所を訪問しました。この研修は「港湾開発・計画に係わる講義を理解し、自国の港湾整備に係る様々な問題（港湾整備の効果とコスト、適切な維持管理、既存施設の有効活用、環境への影響低減、災害への取組等）に対し、実現可能なアクションプランを策定すること」を目的に、1963年（昭和38年）より開催されているものです。

研修員の方々には、最初に豊橋市明海地区にある“完成自動車の輸入台数及び金額ともに20年連続全国第1位の三河港”を牽引する「フォルクスワーゲングループジャパン株式会社豊橋インポートセンター」を訪問していただきました。こちらではテクニカルサービスセンター（新車整備センター）の見学を主として、三河港と自動車貿易との関係について学習していただきました。

続いて、豊橋市神野地区にある「ポートインフォメーションセンターカモメリア」にて、三河港の現状について説明を受けた後、展望台から完成自動車の一時保管ヤードを見ながら、自動車拠点港である三河港を肌で感じていただきました。

午後からは蒲郡市にある複合型マリナリゾート施設「ラグーナ蒲郡」を訪問しました。研修員の方々にはラグナマリーナを始めとする港湾施設等の概要説明を受けた後、施設内を見学していただきました。研修員からは「今後、取扱い台数が増えた場合は日本で生産を考えないのか」「自動車運搬船は1隻どのくらい積載できるのか」等の質問が出され、三河港及び港湾について興味と知識を深めていただけたようです。当事務所では今後もこのような各種研修を支援していきます。



平成25年度三河港関連事業計画等説明会

6月21日、豊橋市のライフポートとよはしで、三河港振興会と東三河懇談会主催の「三河港関連事業計画等説明会」が開催されました。この説明会は国や県の事業概要や進捗状況等を把握するための情報交換を目的として毎年開催されており、講師として愛知県三河港務所・近田所長、愛知県三河港工事事務所・村瀬所長、ならびに当事務所の宮田所長が招かれました。

今回は約120人が参加するなか、豊橋市・有安副市長の挨拶後に、各講師が事業概要等を説明しました。

最初に宮田所長が、三河港の港勢および地震・津波対策等の説明と、産業・物流の拠点となる港湾整備、災害に強い港としての堤防液状化対策等、現在の取り組みを報告しました。その後、近田所長が三河港内の各地区における施設概要や整備方針等を、最後に村瀬所長が臨海部や内陸部の用地造成事業等を説明しました。



事業について説明する宮田所長

お知らせ！



蒲郡みなとフェスティバルで白龍を公開します！



船内も見れるよ！



新型海洋環境船「白龍」

白龍についての詳細はこちら http://www.nagoya.pa.cbr.mlit.go.jp/library/p_hakuryu/hakuryu.pdf

日時：7月27日(土)10:00～15:00

場所：蒲郡港竹島ふ頭桟橋

白龍は名古屋港湾事務所が所有する海洋環境船で、伊勢湾・三河湾内のゴミ回収や水質調査等の環境整備事業を実施しています。また、油流出事故発生時には事故現場で油回収業務を行います。2011年に発生した東日本大震災の際には仙台湾沿岸に派遣され、津波による大量の流出・漂流物の回収、陸揚げ作業を実施し、海上交通路の確保(航路啓開)による港湾機能の回復に貢献しました。

三河港湾ぎやらりー



作品No9 港の名脇役
(バー吉安ローダー)

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル
おおいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00
(土・日・祝祭日を除く)
※一部の地域を除きます。

**国土交通省
中部地方整備局**



三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>